

	コンピュータ演習A	情報系□情報	学校設定科目	自由選択	通年	2単位
履修上の注意	「社会と情報」または「情報の科学」を履修済みであり、コンピュータ操作に習熟していること。					
授業の目標・内容	1. デジタルドキュメントの製作 Wordによる入力練習と、画像を含んだ文書の制作をおこないます。 2. 表計算 Excelのより高度な使用方法の習得をめざします。 3. プレゼンテーション PowerPointを使ってプレゼンテーションを作成し、これを発表します。 4. 電子メールについて学びます。 5. アプリケーションソフトの統合的な使用について学びます。					
使用教材(費用)	準教科書(実習費を含み計1500円程度)					
評価規準・方法など	試験、提出物、授業への参加状況などにより、総合的に評価します。					
備考	コンピュータ演習Aは、コンピュータシステムや、アプリケーションソフト全般の操作についてより詳しく学び、身につける講座です。「社会と情報」または「情報の科学」を履修済みで、コンピュータ操作に習熟している人を対象とします。					
	コンピュータ演習B	情報系□情報	学校設定科目	自由選択	半期	1単位
履修上の注意	「社会と情報」または「情報の科学」を履修済みであり、コンピュータ操作に習熟していること。					
授業の目標・内容	1. プログラムの基礎とアルゴリズム プログラムとは何かという概念や、プログラムを組んでいく上で必要不可欠なアルゴリズムについて学びます。 2. プログラム実習 基礎をふまえ、決められたプログラムを実際に組んでみます。 3. 自主課題制作 自分で課題を決め、さまざまなプログラムを考えて作成し、各々の作品の発表会をおこないます。					
使用教材(費用)	自主作成教材(教材費は必要ありません)					
評価規準・方法など	試験、授業への参加状況、提出物等により総合的に評価します。					
備考	コンピュータ演習Bは、Basic等を用いて、プログラムについて学んでいきます。最後には、自分のつくりたいプログラムを自分の手で組めるようになることを目標とします。コンピュータ相手の言葉には、曖昧・不明確なことばでは通じません。プログラムを組むにはかなりの集中力と忍耐が必要なことをあらかじめ了解しておいてください。「社会と情報」または「情報の科学」を履修済みで、コンピュータ操作に習熟している人を対象とします。					
	コンピュータ演習C	情報系□情報	学校設定科目	自由選択	半期	1単位
履修上の注意	「社会と情報」または「情報の科学」を履修済みであり、コンピュータ操作に習熟していること。					
授業の目標・内容	1. 情報モラル 情報を発信・受信する上で重要な情報モラル(著作権や個人情報の流出の問題など)について学びます。 2. インターネットコミュニケーション 電子メール・電子掲示板・チャット等、インターネットを介するさまざまな手段でのコミュニケーションについて学びます。 3. ホームページ作成 テーマ設定をし、各自でホームページを作成します。 4. プレゼンテーション 作成したホームページについて、内容・工夫した点などのプレゼンテーションをおこないます。グループに分かれての発表練習の後、全体発表をおこないます。					
使用教材(費用)	準教科書(実習費を含み計2000円程度)					
評価規準・方法など	試験、授業への参加状況、提出物等により、総合的に評価します。					
備考	コンピュータ演習Cは、情報発信・情報受信のIT機器を用いたコミュニケーション能力を身につけることを目標とします。発表等にも積極的に参加する意欲のある人が受講してください。「社会と情報」または「情報の科学」を履修済みで、コンピュータ操作に習熟している人を対象とします。					